

令和5(2023)年度

寄附受入状況と活動報告



宇都宮大学3C 基金

宇大スピリット3C精神（Challenge、Change、Contribution）を冠した本基金は、皆様から多くのご支援をいただき、広く社会で活躍しうる人材の育成にむけて、奨学金の給付、教育研究活動、地域への貢献活動、キャンパス環境の整備等の支援に活用させていただいております。

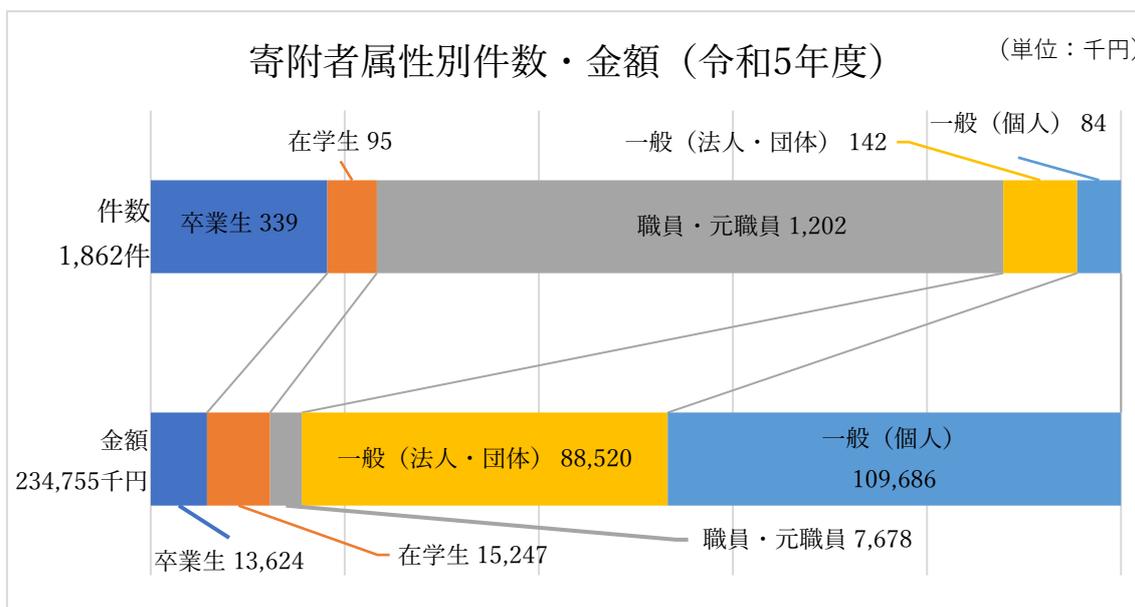
本基金の趣旨に対し、深いご理解とご協力を賜わり、多大なるご寄附を頂戴した皆様には厚く御礼申し上げますとともに、令和5年度の寄附受入状況と支援活動についてご報告いたします。

1. 寄附金の受入状況

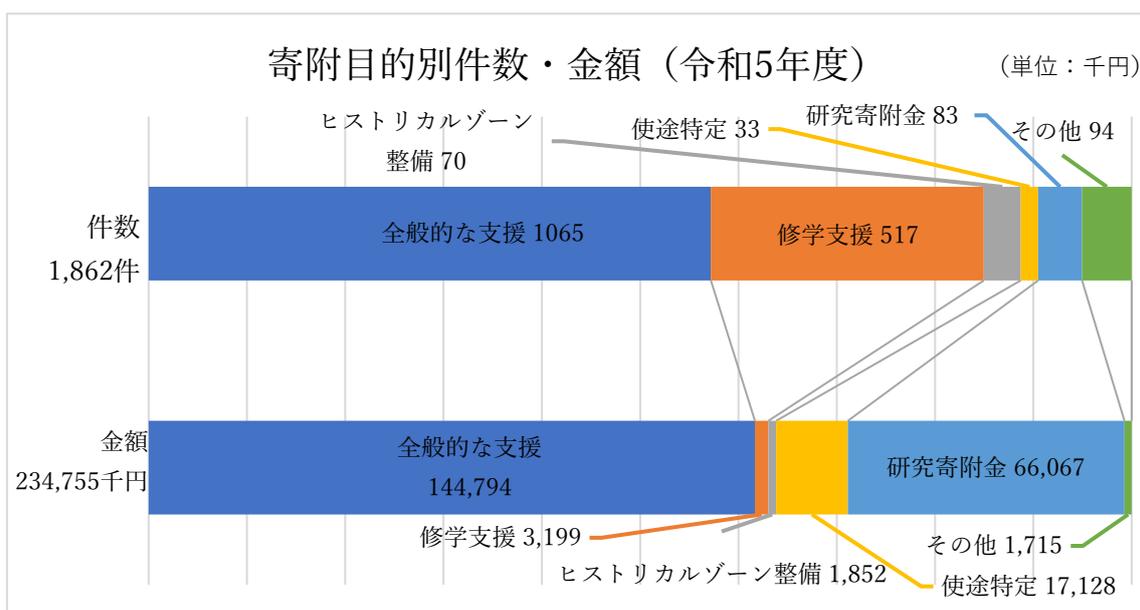
宇都宮大学3C基金が発足した平成29年度から令和5年度までに、卒業生、在學生、一般、職員（元職員）の方々から総額約12億3,179万円のご寄附を頂戴いたしました。

また、149名の個人の方々と30法人様が「宇大倶楽部」にご入会いただき、継続的なサポーターになっていただいております。

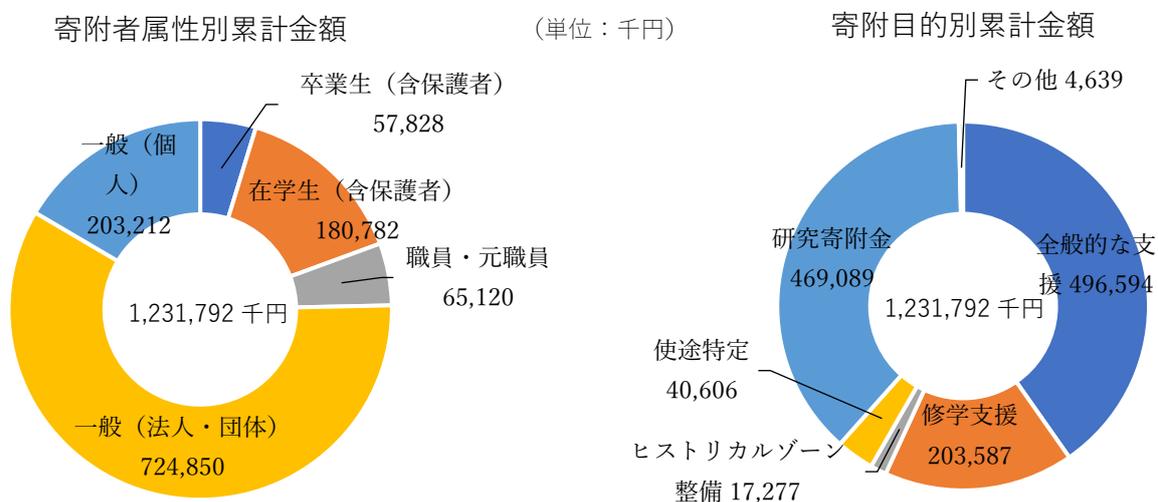
(1) 令和5年度受入れ実績



※卒業生及在學生には、保護者を含みます。



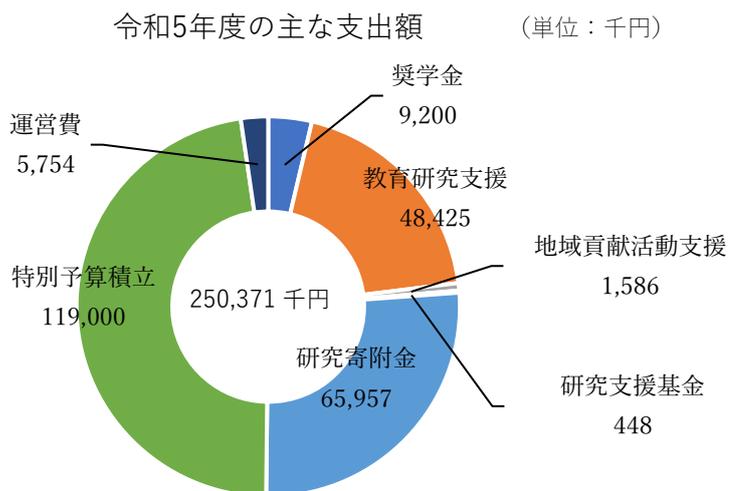
(2) 平成29年度から令和5年度までの受入れ実績



※ その他：農学部100周年記念事業、地域課題解決、学生や不安定な雇用状態にある研究者への支援

2. 支援した事業

皆様から頂戴したご寄附は、以下の支援事業にて使用させていただきました。



(1) 奨学金

1) 飯村チャレンジ奨学金

光陽エンジニアリング株式会社様（代表取締役会長 飯村慎一様）からのご寄附を活用し、チャレンジ精神旺盛な学生を支援する奨学金です。

令和5年度は、15名の学生に対しそれぞれ48万円（月額4万円/12ヶ月）を給付しました。給付者については、ボランティア活動に積極的に参加することを条件に、チャレンジ精神旺盛で経済的な支援が必要と認められる学生を書類と面接によって選考しました。



最終発表報告会

令和6年3月には、福島県会津若松市で研修旅行を行い、奨学生のボランティアや研究活動についての報告会を開催しました。

2) 入学応援奨学金

宇都宮大学への入学を希望しながら、経済的理由により進学を断念することがないように栃木県内高校出身の学生6名に対し、入学時に必要となる学資の一部としてそれぞれ30万円を給付しました。

なお、選考は令和4年度中に実施し、入学後の令和5年4月に給付しました。

3) 関スポーツ奨学金

関雅樹様からのご寄附を活用し、課外活動団体（体育系で各種競技大会に出場している任意団体）に所属し、積極的にスポーツ活動に参加し、スポーツと活動と学業の両立のため、経済的に支援が必要と認められる学生に対して給付する奨学金です。

令和5年度は、2名の学生に対しそれぞれ10万円を給付しました。

4) 増山奨学金—外国人留学生支援奨学金—

増山律子様からのご寄附を活用し、学士課程及び大学院博士前期課程に在籍する学生のうち、学業成績及び人物が優秀で、かつ留学時の生活のための経済的支援を必要とする私費外国人留学生を支援する奨学金です。

令和5年度は、11名（前期6名、後期5名）の外国人留学生に対しそれぞれ10万円を給付しました。

5) 増山奨学金—海外留学支援奨学金—

増山律子様からのご寄附を活用し、世界トップクラスの大学等へ留学するために、経済的支援が必要な学生へ給付する奨学金です。

令和5年度は、条件を満たす者がいなかったため支給はありませんでした。

6) 斎藤裕奨学金

斎藤裕様からのご寄附を活用し、先進的な研究開発に意欲がある理工系の学士課程4年生と大学院修士課程及び博士前期課程に在籍する学生に給付する奨学金です。

令和5年度は、7名の学生に対し総額450万円を給付しました。

(2) 教育研究支援事業

7) 宇大ラーニングサポーター

宇大ラーニングサポーターは、学生生活のことや履修登録、レポートの書き方など学生の多岐にわたる疑問や悩みに学生目線で相談に乗る活動を行っています。新入生相談会やおすすめ授業紹介、ゼミ・研究室紹介などのイベントを開催し多くの参加者を集めています。

宇都宮大学学生後援会様からのご寄附を主な原資として、のべ51名（前期31名、後期20名）の宇大ラーニングサポーターに対し、総額216万円の謝金を支給しました。



授業紹介

1) 3C 留学奨励金

海外派遣プログラムに参加する学生に、諸経費等を支援するものです。

令和5年度は、オーストラリア、マレーシア、台湾等における海外語学研修に参加した41名の学生に対し総額205万円の支援を行いました。



オーストラリア英語研修

2) 大学院生研究奨励金（研究 Grant）

フィールドワークや各種調査等に主体的・意欲的に取り組む大学院生に対して支援するものです。

令和5年度は、ウイルス、植物細胞、カーボンニュートラル、言語、社会的自立支援等を研究する9名の学生に対し総額95万円の支援を行いました。

3) 斎藤裕研究助成金

斎藤裕様からのご寄附を活用し、先進的な理工系の研究者支援のため、若手教員へ助成を行うものです。

令和5年度は、コロナ禍において中断していた派遣体制を構築中のため支援は行いませんでした。

4) 教育設備の充実

基盤教育英語科目（EPUU）における学習内容の充実を図るため、株式会社TKC様のご寄附を活用し、CALL教室の保守等に88万円を支出しました。

また、共同教育学部教育設備充実として退職教員の寄附を原資に印刷機購入のため500万円を支出しました。



共同教育学部印刷機

5) 学生支援

学生後援会様からのご寄附や課外活動団体支援イベントへの参加による獲得寄附等を原資に様々な支援を行い、総額560万円を支出しました。

- ・ 課外活動奨励 支援イベント Giving Campaign へ参加した17団体へ141万円
- ・ 課外活動設備更新 ガレージ、倉庫棚、製氷機、PC 関連機器等 221万円
- ・ 学生表彰 39名と11団体へ150万円
- ・ 物価高対策支援 221名へ総額148万円支援のうち48万円



第2体育館製氷機（左）

6) 女性研究者海外派遣助成

女性研究者が海外の研究機関・教育機関において研究を行い、高度な研究力、国際性及びリーダーシップ力を身につけることを支援するものです。

令和5年度は、4名に対し派遣費用を支援するとともに報告書を作成し総額199万円を支出しました。



マレーシアへの現地視察

7) 部局等使途特定支援

部局の活動やプロジェクト支援等寄附先や使途を指定して支援できる仕組みで、令和5年度は、学部、センター、課外活動クラブ等宛に1,713万円を受け入れ、それぞれの活動に積極活用されました。

(3) 地域貢献活動支援事業

1) 地域貢献活動支援

峰が丘地域貢献ファンドの運用益を活用し、地域に貢献する学生の活動を支援するものです。

令和5年度は、空き家の活用を行う2件の活動に対し、総額20万円の支援を行いました。



家具の製作

2) 3Cキッズカレッジ

次世代育成事業として、理科実験体験やものづくり教室など、子ども向け体験活動講座・教室活動を支援するものです。

令和5年度は、13件の事業に対して総額139万円の支援を行いました。



カイコの身体の作りの説明

(4) 特別事業予算

1) キャンパス環境整備

建物改修や備品導入等環境整備の積立てのために1億400万円を特別予算へ振り替えました。

令和5年度はこの特別予算から、学内22か所へのウォータースタンド設置工事に506万円、教室の扉改修と音響設備更新に164万円、キャリアセンターへの就職活動用個人ブース設置に182万円の総額852万円を支援しました。



陽東キャンパスのウォータースタンド

2) ヒストリカルゾーン整備

ヒストリカルゾーンは、6つの施設（峰ヶ丘講堂=登録有形文化財、石蔵、UUプラザ、フランス式庭園=登録記念物、イギリス式庭園、日本式庭園）により構成されています。これらの施設を誰もがより活用しやすくすることを重視し、それぞれの長所を更に魅力的なものへ、短所は長所に転換する改善を施し、安全・安心で明るく彩り豊かな場所として整備するために特別予算を組んで積み立てており、1,500万円を振り替えました。

令和5年度は、以下の整備のために3,057万円を支出しました。

- ・ 峰ヶ丘講堂渡り屋根・花壇の設置等 772万円
- ・ 日本式庭園周辺危険樹木の伐採 143万円
- ・ 石蔵B棟取壊し・A棟メッシュモデル作成 1,815万円
- ・ 庭園整備計画作成 327万円（下記パース参照）



講堂西側花壇と渡り屋根



取り壊した石蔵B棟跡地



パース：講堂南側



パース：講堂東側



パース：講堂南側



パース：イギリス式庭園



パース：日本式庭園



パース：築山からの眺め

(5) 研究寄附金

学術研究に要する経費など、教育研究の奨励などを目的に寄附者から指定された教員等へ合わせて6,607万円を受け入れ、当該教員の学術研究及び教育活動等に使用されました。

(6) 基金運営費

銘板やサポーターパネルの更新、返礼品、寄附特典等寄附者の方々への対応費用として281万円を支出しました。

また、人件費、基金管理システム改修費、リーフレット作成等3C基金運営の事務費用として295万円を支出しました。

3. 今後の計画

令和6年度は、引き続き学生の学びの継続や充実した学生生活のために多角的な支援体制を強化するとともに、地域社会への貢献や研究活動への支援を行って参ります。ヒストリカルゾーンについては、石蔵A棟保存にかかる耐震設計、峰ヶ丘講堂及び庭園一帯の植栽や園路等の整備を計画しています。

また、様々な受入と支援の方策やそれに付随した大学認知度の拡大を図っていきたいと考えております。

引き続き、宇都宮大学3C基金の精神に則り、さらなる教育研究活動の充実を図れるよう支援事業の拡充に取り組んで参ります。今後とも、宇都宮大学3C基金に対する変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

宇都宮大学3C基金事務局

〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町 350

tel: 028-649-8177

e-mail: kikin@a.utsunomiya-u.ac.jp



ホロスケット

3C基金ロゴマーク

峰ヶ丘講堂玄関の飾り窓をモチーフとし、フクロウの形に「3Cfund」の文字を入れています。

栃木県の方言で、フクロウをホロスケットと言うことから、「ほろ=少し」と「助っ人」を組み合わせ、様々な活動に少しずつ支援を行う基金という意味を込めています。